

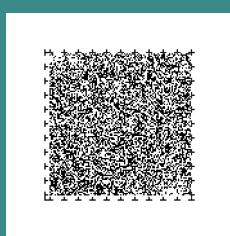
福岡市 環境基本計画 (第四次)

概要版



人・まち・自然が調和し、
心豊かに住み続けられるアジアのモデル都市

福岡市



音声コード「Uni-Voice」



改定の背景（福岡市の今とこれから）

福岡市の環境に関する基本的事項を整理しました

都市と自然が調和したまち

福岡市は博多湾に面し、南は脊振山地に、東は三郡山地に囲まれた地形をしており、豊かな自然環境と充実した都市機能が調和した都市です。

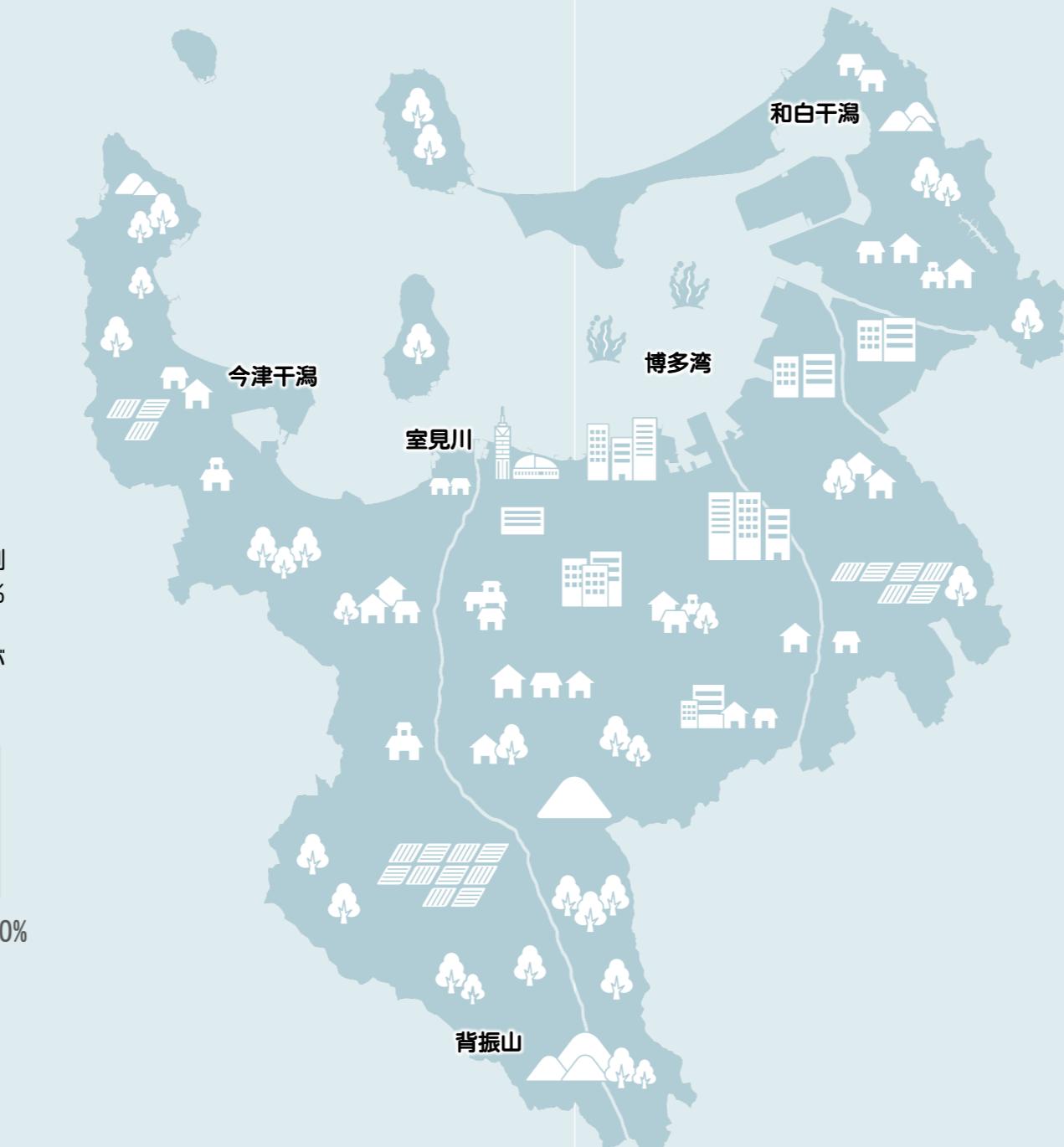
脊振山地は標高約1,000mに達し、海拔0mの沿岸部から高地まで標高差のある地形は、気候や植生の異なる多様な環境を形成しています。

沿岸部の一部には、干潟や砂丘、海浜植物の群落などが存在し、渡り鳥や水生生物の貴重な生息地となっています。加えて、島しょ部には、自然海岸など豊かな自然環境が現存し、多種多様な生きものが生息・生育しています。



住みやすいまち

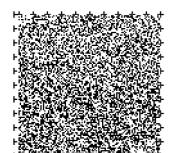
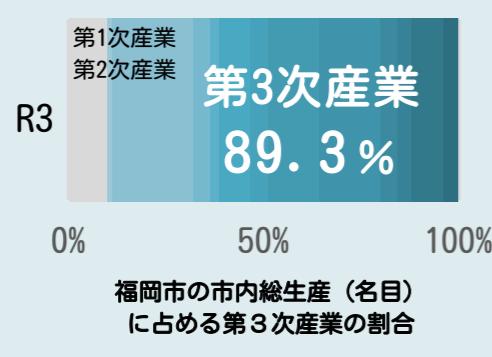
「令和5年度市政に関する意識調査」では市民の98.2%が福岡市は「住みやすい」と回答しており、その理由として、自然環境の豊かさ、新鮮でおいしい食べ物の豊富さなどが挙げられています。



産業が多種多様で元気なまち

市内総生産は第3次産業（サービス業、商業など）が約9割を占め、また、市内事業所数に占める中小企業の割合は99%以上で業種も多様です。

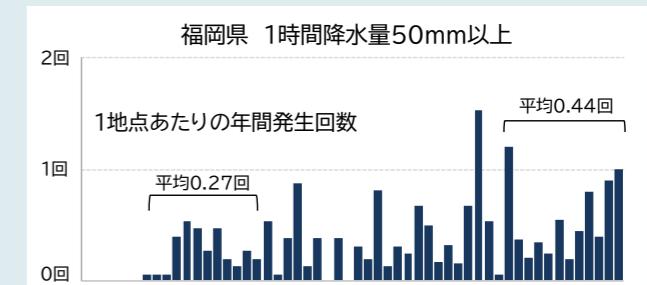
さらに全国的に見ても開業率が高く、スタートアップが盛んな都市でもあります。



気候変動の影響が現れています

福岡市の年平均気温は上昇傾向にあり、2024（令和6）年の年間平均気温は観測史上最も高い19.0°Cを記録しました。

年間降水量に大きな変化は確認できませんが、福岡県における1時間降水量50mm以上の短時間大雨の年間発生回数は1980年前後と比較して約1.7倍に増加しています。



農林水産業は縮小傾向

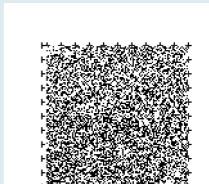
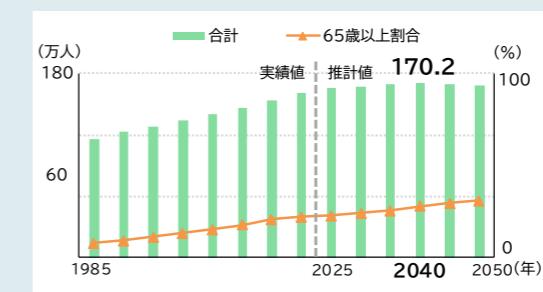
福岡市の農業、水産業ともに戸数、従事者数の減少が続いている一方で、農地面積や水産業の生産量も減少傾向にあります。

また、博多湾のアサリや、春の風物詩である室見川のシロウオの漁獲量が減少しているほか、豊かな命を育む里地里山環境の消失等が進行しています。



今後も人口は増加し、高齢化も進行

福岡市の人口は増加し続け、2040（令和22）年頃には約170万人に達し、ピークを迎えると見込まれています。また、高齢化も進行し、2050（令和32）年には65歳以上人口が3割を超えると予想されています。





改定の考え方（ポイント）

以下の視点で計画の改定を行いました

①「行動変容」の視点

環境危機は一層深刻化しており、対策は待ったなしの状況です。解決に向けては、行政だけでなく、市民や市民団体、学校、事業者などあらゆる主体、市民一人ひとりの行動の変容が必要不可欠であり、多様な媒体や手法を活用した広報啓発等により、ライフスタイルやビジネススタイルの転換を図ります。

②「事業者連携」の視点

理想の環境都市像の実現に向けては、日進月歩で進むグリーンイノベーションや民間サービスの活用が重要です。行政としてこれらの技術やサービスの社会実装を後押しするなど、これまで以上に積極的に事業者と連携した取組みを推進していきます。

③「脱炭素・循環経済・生物多様性の統合的推進」の視点

「脱炭素」「循環経済」「生物多様性」の3つの分野は密接に関わっており、解決に向けた対策も相互に影響し合うことから、これらの取組みにあたっては、負の影響を最小化するとともに相乗効果が得られるよう、統合的な推進を図ります。

（例：メガソーラーを設置するために過度に森林を伐採すると生物多様性の損失を生む（負の影響）。リサイクルの取組みは、モノの廃棄に伴う焼却が減り、温室効果ガス排出量削減に寄与する（相乗効果）、など。）



みんなでめざすまちの姿

2050年 の理想の環境都市像を設定しました

環境に関しては、中長期的な視点で施策を推進することが重要とされており、本計画では、2050年 の理想の環境都市像（みんなでめざすまちの姿）を設定しました。

また、全ての環境施策を進めていくうえで大切な統合的・横断的な3つの行動指針を示しています。

＜みんなでめざすまちの姿＞

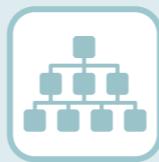
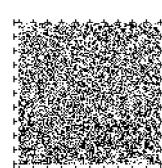
人・まち・自然が調和し、心豊かに住み続けられる アジアのモデル都市

～みんなでめざすまちの姿に向けた行動指針～

日々の暮らしや営みの中に環境への配慮が浸透しているまちを目指します

豊かな自然の恵みや都市資源を活かした循環のまちを目指します

環境への取組みが都市の魅力を高め、持続的に発展するまちを目指します

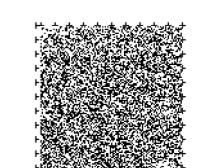
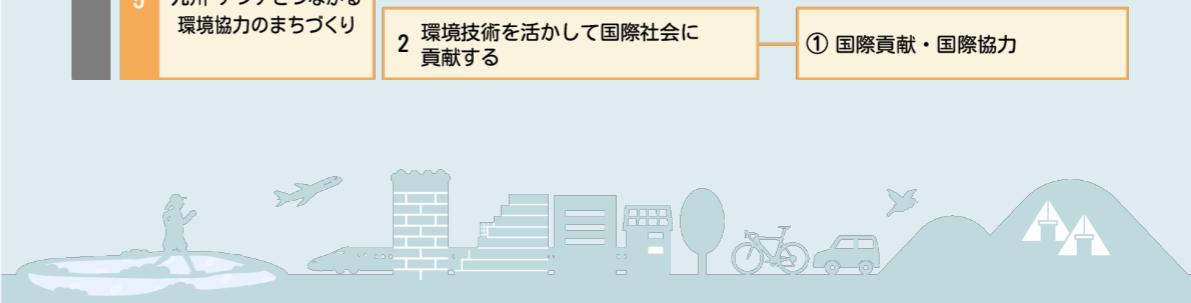


環境施策の展開（施策体系）

今後10年間の取組みの方向性を定めました

2050年の将来像の実現から逆算し、今後10年間の取組みの方向性を定めました。分野横断的に取り組む必要がある「重点施策」を2つ、重点施策と連動し、環境課題の柱として着実に取り組む必要がある「基本施策」を5つ設定し、施策を展開していきます。

	節	項	分類	
重点施策	1 【行動変容】 環境行動を実践する まちづくり	1 環境にやさしい行動の輪を広げる 2 環境に関する学びの輪を広げる	① ライフスタイルの転換の促進 ② 環境情報の効果的な発信 ① 環境保全・創造に向けた 人づくり ② 環境保全・創造に向けた 地域づくり	
	2 【事業者連携】 環境経営を実践する まちづくり	1 環境にやさしいビジネススタイルを定着させる 2 環境と経済の好循環を創る	① ビジネススタイルの転換の促進 ① 民間活力の活用 ② 環境ビジネスの拡大	
基本施策	1 【脱炭素】 カーボンニュートラルを実装したまちづくり	1 温室効果ガス排出量を減らす 2 気候変動によるリスクに備える	① 都市の特性を踏まえた脱炭素 戦略の策定及び推進 ③ 業務部門の脱炭素化 ⑤ 公共施設等の脱炭素化 ① 温暖化による影響の回避・軽減	② 家庭部門の脱炭素化 ④ 自動車部門の脱炭素化
	2 【循環経済】 地球にやさしい 循環のまちづくり	1 ごみの減量と資源化を進める 2 ごみの適正な処理を進める	① 家庭ごみの減量・資源化 ② 事業系ごみの減量・資源化 ① 適正処理の推進 ② 廃棄物処理体制の構築	
5	3 【生物多様性】 多様性にあふれた 自然共生のまちづくり	1 生物多様性を守り、活かす 2 水と緑を守り、活かす	① 生物多様性の保全・回復・創出 ③ 環境配慮の促進 ① 水辺環境の保全、水資源の 有効利用 ② みどりの保全・創出・活用	② 生物多様性の恵みの活用
	4 【生活環境】 安全で良質な 生活環境のまちづくり	1 安全・安心に暮らせる生活環境を確保する 2 美しく、住みよい生活環境をつくる	① 安全・安心な生活環境の保全 ① 景観の保全・創出 ② 環境美化の推進	
	5 【広域連携】 九州・アジアとつながる 環境協力のまちづくり	1 市域を超えた環境協力を進める 2 環境技術を活かして国際社会に貢献する	① 福岡都市圏との連携 ② 九州・国内各地域との連携 ① 国際貢献・国際協力	



重点施策
1 節

環境行動を実践するまちづくり

関連する主な SDGs のゴール



主な施策

第1項 環境にやさしい行動の輪を広げる

市民一人ひとりの環境に対する意識を高め、環境配慮行動を支援・促進する効果的な施策や情報発信等に取り組み、環境にやさしいライフスタイルへの転換を推進します。

◆ ライフスタイルの転換の促進

- ・消費行動等の変容促進
- ・3R の実践行動の促進

◆ 環境情報の効果的な発信

- ・多様な手段による広報啓発
- など



環境フェスティバルふくおかの様子

第2項 環境に関する学びの輪を広げる

環境に関する学びの機会や場の提供、各主体のつながりの支援などを通じて、環境問題について主体的に考え行動する人づくり・地域づくりを進めます。

◆ 環境保全・創造に向けた人づくり

- ・環境教育の推進
- ・環境行動のリーダーとなる人材育成
- ・学びの機会の創出

◆ 環境保全・創造に向けた地域づくり

- ・あらゆる主体・世代との連携、ネットワークの構築
- ・活動の場の提供



環境学習（調理くずの堆肥化）の様子

市民意識（参考指標）

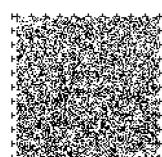
日頃から環境に配慮した暮らしを実践している市民の割合



環境問題の解決には、市民自らが行動することが必要と強く思う市民の割合



※()は肯定的意見「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」のうち、「そう思う」のみの数値



重点施策
2 節

環境経営を実践するまちづくり

関連する主な SDGs のゴール



主な施策

★：主な新規・拡充事業等

第1項 環境にやさしいビジネススタイルを定着させる

企業の環境配慮行動を誘導・促進する効果的な施策や情報提供等に取り組み、環境経営の面的な広がりを推進します。

◆ ビジネススタイルの転換の促進

- ・環境経営の主流化の促進
- ・脱炭素経営への移行促進
- ・資源循環の促進

★廃食用油の再資源化促進

- ・ネイチャーポジティブ経済への移行促進



廃食用油から作ったバイオディーゼル燃料の活用

第2項 環境と経済の好循環を創る

民間企業等が有する先進技術の実用化や社会実装に向けた支援を行うなど、環境保全と地域経済の活性化の両立を図る環境ビジネスの創出・拡大を支援します。

◆ 民間活力の活用

- ・公民連携の推進
- ◆ 環境ビジネスの拡大

 - ・環境ビジネスの創出・振興
 - ・脱炭素関連のイノベーション創出・社会実装

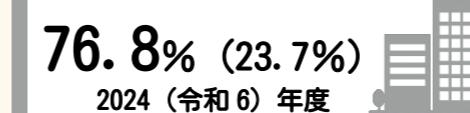
★新技術の実装に向けた支援



福岡市等の支援により、省エネ型のCO₂分離・回収装置等の製品化に成功した九州大学発スタートアップ

市民意識（参考指標）

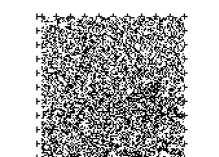
環境に配慮した活動を行う企業が増えていると思う市民の割合



環境に配慮した商品やサービスを目にすることの機会が増えていると思う市民の割合



※()は肯定的意見「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」のうち、「そう思う」のみの数値



基本施策 1節

カーボンニュートラルを実装した まちづくり

関連する主な SDGs のゴール



主な施策

第1項 温室効果ガス排出量を減らす

脱炭素型ライフスタイル・ビジネススタイルへの転換や、省エネルギー化、再生可能エネルギーの利用拡大、イノベーションの早期社会実装など、温室効果ガスの排出削減等を図り、気候変動の緩和策を推進します。

主な施策

- ◆都市の特性を踏まえた脱炭素戦略の策定及び推進
 - ・脱炭素先行地域を中心とした取組みの推進等
★国産ペロブスカイト太陽電池の実装、★地域経済の脱炭素化
- ◆家庭・業務・自動車部門の脱炭素化
 - ・建築物の省エネ化
 - ・再エネの利用拡大 ★非化石証書の共同購入
 - ・自動車等の脱炭素シフトの推進
 - ・シェアリング等の推進



ペロブスカイト太陽電池

第2項 気候変動によるリスクに備える

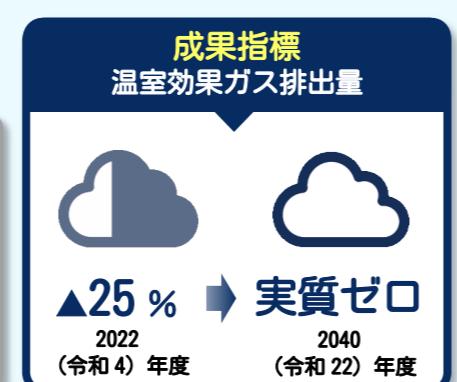
自然災害の激甚化や熱中症リスクの増加など、すでに生じている、あるいは将来予測される気候変動による被害を適切に評価し、回避・軽減させる適応策を推進します。

主な施策

- ◆温暖化による影響の回避・軽減
 - ・浸水対策等
 - ・健康被害の回避、低減
 - ・農林業の適応



クールシェアふくおか協力
施設の目印



市民意識 (参考指標)

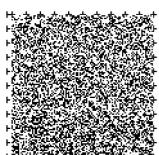
市民や企業、行政などが脱炭素に取り組んでいると思う市民の割合



市民や企業、行政などが気候変動に伴う影響に備えていると思う市民の割合



※()は肯定的意見「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」のうち、「そう思う」のみの数値



基本施策 2節

地球にやさしい循環のまちづくり

関連する主な SDGs のゴール



主な施策

第1項 ごみの減量と資源化を進める

廃棄物の減量に向けて、3R+リニューアブル（再生材利用等）の取組みを推進します。また、家庭ごみや事業系ごみの資源化に取り組み、循環経済への移行を図ります。

主な施策

- ◆家庭ごみの減量・資源化
 - ・家庭ごみの発生抑制・再使用・リサイクル
★プラスチックリサイクルの推進
★誰もが出しやすい資源回収方策
- ◆事業系ごみの減量・資源化
 - ・事業系ごみの発生抑制・再使用・リサイクル
★食品廃棄物の資源化促進（飼料化・堆肥化・メタン化）など



食品リサイクル・バイオガス発電施設

第2項 ごみの適正な処理を進める

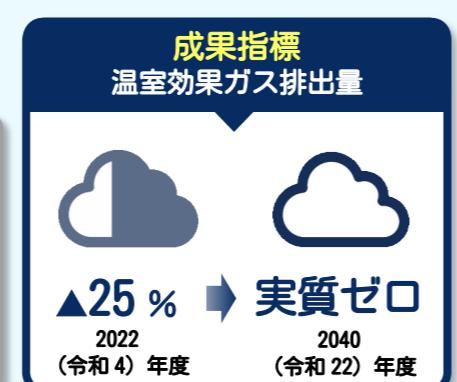
平時から災害時まで、円滑に廃棄物を処理することができる安全・安心な処理体制を整備するなど、将来にわたって安定的なごみの適正処理に向けた取組みを推進します。

主な施策

- ◆適正処理の推進
 - ・適正な廃棄、処理の徹底 ★持ち去り対策、★発火危険物の適正分別の推進
- ◆廃棄物処理体制の構築
 - ・持続的なごみ処理施設の整備・運用
 - ・エネルギーの有効利用 ★西部工場再整備

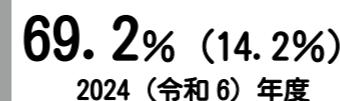


西部工場再整備

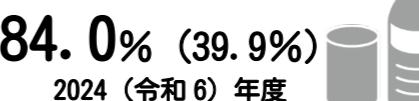


市民意識 (参考指標)

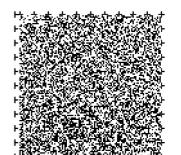
市民や企業、行政などによるごみの削減やリサイクルの取組みが進んでいると思う市民の割合



ごみや資源物が出しやすく、その収集や処理も適正に行われているまちだと思う市民の割合



※()は肯定的意見「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」のうち、「そう思う」のみの数値



基本施策 3 節

多様性にあふれた自然共生の まちづくり

関連する主な SDGs のゴール



主な施策

第1項 生物多様性を守り、活かす

ふくおかの豊かな自然と多様な生きものから受ける恩恵を将来にわたって享受するため、多様な主体と連携・共働して、環境負荷の低減や多面的機能の活用、生物多様性の保全・回復・創出に取り組みます。

主な施策

- ◆生物多様性の保全・回復・創出
 - ・生きものの生息・生育環境の保全等
 - ・生物多様性への負荷低減
- ◆環境配慮の促進
 - ・環境影響評価
 - ・環境配慮指針の改定、運用



干潟の生きもの観察会の様子

第2項 水と緑を守り、活かす

豊かな自然の恵みをもたらす博多湾や、市民に潤いと安らぎを与えるみどりを保全するとともに、豊かな水や緑を活かし、自然と共生した魅力的なまちづくりを進めます。

主な施策

- ◆水辺環境の保全、水資源の有効利用
 - ・博多湾の保全 ★栄養塩類のあり方検討
 - ・干潟の保全
 - ・親水空間の確保
 - ・自然豊かな河川の保全

- ◆みどりの保全・創出・活用
 - ・緑化推進 ★グリーンビル促進事業
 - ・農地保全
 - ・森林資源の循環利用

市民意識（参考指標）

生物多様性の意味を理解し、その保全につながる行動をしている市民の割合

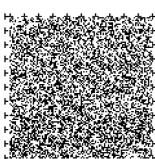


豊かな水辺や緑に親しむことができる空間が維持・整備されていると思う市民の割合



*1 「第10次福岡市基本計画 第1次実施計画」に掲げた指標であり、「理解して行動している」市民の割合

*2 ()は肯定的意見「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」のうち、「そう思う」のみの数値



基本施策 4 節

安全で良質な生活環境のまちづくり

関連する主な SDGs のゴール



主な施策

第1項 安全・安心に暮らせる生活環境を確保する

大気汚染や水質汚濁、土壤汚染等の発生防止、騒音・振動や悪臭の発生抑制に取り組むなど、様々な環境リスクの低減を図り、安全・安心に暮らせる生活環境を保全します。

主な施策

- ◆安全・安心な生活環境の保全
 - ・大気汚染対策
 - ・騒音・振動対策
 - ・河川の水質保全
 - ・有害化学物質対策



水質調査の様子

第2項 美しく、住みよい生活環境をつくる

市民や事業者との共働により、自然環境や歴史資源などを活かした、住みよいまちづくりを推進します。

主な施策

- ◆景観の保全
 - ・都市景観形成
- ◆環境美化の推進
 - ・モラル・マナーの向上
 - ・まちの美化活動推進



市民意識（参考指標）

生活環境（空気、水のきれいさ、静けさ、におい・かおり）の状況が良好だと思う市民の割合

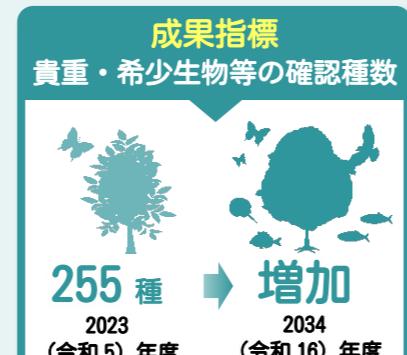


まちの景観が保たれ、ごみがない美しいまちづくりが進んでいると思う市民の割合

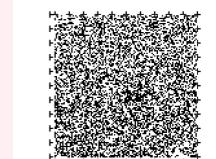


市民意識（参考指標）

※()は肯定的意見「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」のうち、「そう思う」のみの数値



※生物多様性の回復により、絶滅危惧種を含む貴重・希少生物等の個体数が増加し、市内で確認できる種数が増加している状態。



九州・アジアとつながる 環境協力のまちづくり

関連する主な SDGs のゴール



主な施策

第1項 市域を超えた環境協力を進める

福岡都市圏をはじめ、近隣自治体等と連携・協力し、気候変動問題や海洋プラスチックごみ問題等、広域的な環境問題の解決に向けた取組みを推進します。

主な施策

- 福岡都市圏との連携
 - 都市圏市町の環境協力
 - 水源地域・流域との連携・協力
- 九州・国内各地域との連携
 - 四市（鹿児島市・熊本市・福岡市・北九州市）連携
 - 福北連携

など



第2項 環境技術を活かして国際社会に貢献する

廃棄物埋立技術「福岡方式」や上下水道技術など、ふくおかの環境技術を活かした国際貢献・国際協力を推進し、アジアをはじめ国際社会における認知度の向上を図ります。

主な施策

- 国際貢献・国際協力
 - 福岡方式の海外普及
 - 浸水対策や節水型都市づくりによる国際貢献
 - 研修生の受入等による職員相互の人材育成

市民意識（参考指標）

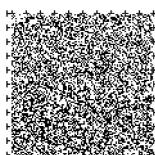
福岡市と近隣地域とが協力して、自然や生活環境が保たれていると思う市民の割合

66.5% (15.8%)
2024（令和6）年度

福岡市の環境技術がアジアや世界に貢献し、存在感を高めていると思う市民の割合（廃棄物管理・上下水道技術）

46.6% (14.0%)
2024（令和6）年度

※（ ）は肯定的意見「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」のうち、「そう思う」のみの数値



みんなでめざすまちの姿の実現に向けた行動

市民や事業者が取り組む行動の一例です

市民が取り組む行動例

今持っている服を長く大切に着る

1年長く着れば
国内の廃棄量 **4万トン以上**
削減

地元産の食材を選ぶ

地元の農家応援!
新鮮な食材!
食材の輸送にかかるエネルギー消費量
削減

省エネ家電に買い換える

eco
10年前の製品と比べて…
電気代 年間約 **6,000円**
節約

宅配サービスを1回で受け取る

CO₂
(現状) 国内の再配達で
排出されるCO₂の量
福岡ドーム 年間約 **110杯分**
削減

ごみを減らす

ごみ処理に使われるエネルギー消費量
家計の節約にもつながる!
削減

エコドライブ カーシェアリング

燃費改善、走行距離
家計の節約にもつながる!
減少

電気自動車の購入

走行中のCO₂排出量
非常用電源にも活用できる!
ゼロ

食事を食べ残さない

(現状)
1人あたり
お茶碗 **1杯/日** 廃棄量
削減

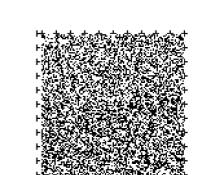
住宅窓の改修

二重サッシや複層ガラスへ
交換すると…
電気代 年間約 **16,000円**
節約

徒歩や自転車、 公共交通で移動する

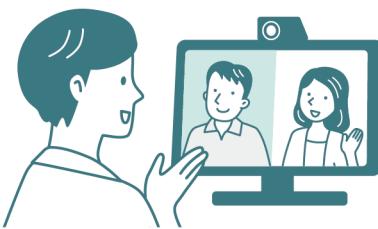
徒歩・自転車の移動で…
健康増進、ガソリン代
節約

※記載の数値等は計画策定期点の情報



事業者が取り組む行動例

環境にやさしい働き方を推進する



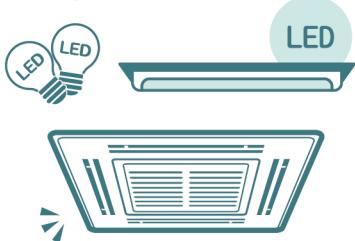
WEB会議、オフィスカジュアルでの勤務などの働き方を取り入れる。

CO₂排出量の見える化に取り組む



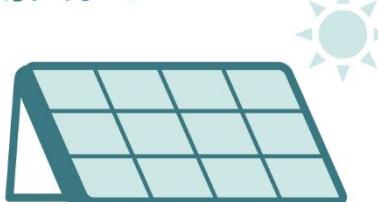
事業活動にかかるCO₂排出量を算定し、削減を行う。また、環境経営情報を適切に開示する。

省エネルギー化を推進する



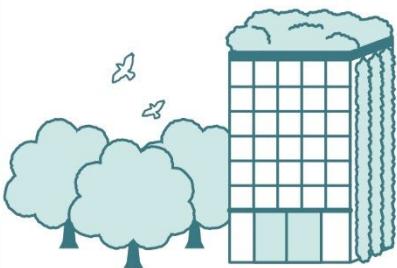
LED照明や高効率空調機器の導入など、エネルギーの効率的な利用を推進する。

再生可能エネルギーを導入する



太陽光発電設備の設置や再生可能エネルギー由来の電力を選択する。

緑を保全・創出する



屋上緑化、壁面緑化などに取り組み、生きものにやさしい空間を創る。

生物多様性に配慮した事業活動を推進する



製品の原材料の調達等は、生態系への影響が少ないものを検討する。

食品廃棄物の削減に取り組む



商習慣の見直しを含む食品ロスの発生抑制や、発生した食品廃棄物の資源化を進める。

分別や資源化がしやすい商品開発に取り組む



生産段階から再利用などを視野に入れて設計し、新しい資源の使用や消費を抑える。

大気環境や水質の保全に努める



法令の規制を遵守し、事業活動に伴う大気汚染や水質汚濁の防止対策を講じる。

地域との共働により環境意識の向上に貢献する



地域の環境イベントへの積極的な参加や、場や機会等の提供に協力する。

